

令和 3 年 6 月 19 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2020

課題番号：18K00358

研究課題名（和文）中華民国期における高等教育と中国知識人の文化活動 青島、済南、周辺都市を中心に

研究課題名（英文）Chinese Higher Education and Cultural Activities by Intellectuals in the Republic of China: The Case of Qingdao, Jinan and its Neighboring Cities

研究代表者

中村 みどり（NAKAMURA, MIDORI）

早稲田大学・商学大学院・教授

研究者番号：30434351

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,400,000円

研究成果の概要（和文）：上海図書館や大連図書館などでの調査を踏まえて、『夜の華 中国モダニズム研究会論集』（中国文庫、2021年）を刊行した。本研究メンバーの論文のタイトルは以下の通りである。中村みどり「青島興亡をめぐる民族意識と父の記憶 洪深の映画脚本「劫後桃花」を中心に」、中野徹「「学匪」を駆逐せよ 国立青島大学の学生運動と聞一多」、齋藤大紀「隣はナニをする人ぞ 胡也頻「昨夜 一段供状」と民国期のオナニー論」、杉村安幾子「無名氏『塔裡的女人』論 逆照射される男性性失墜の物語」、高橋俊「パパ、中国現代文学研究は何の役に立つの?」、中野知洋「重慶時期王平陵の民族主義小説「女優之死」を中心に」。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究例会、シンポジウムで青島と中国人文学者の関係に関する報告を行い、中華民国期の高等教育を支えた国立青島大学、後身の国立山東大学およびその教壇に立った中国知識人の教員・文学者としての活動について様々な角度から考察を行い、従来の青島文化史および中国現代文学史に新たな視点を提供することができた。また研究代表者および研究分担者が共著メンバーとなった中国現代文学研究論文集『夜の華 中国モダニズム研究会論集』（中国文庫、2021年3月）を刊行した。上記論文集の献本は国内だけでなく中国の研究者にも郵送し、国内外における幅広い研究成果の公開に努めた。

研究成果の概要（英文）：After our research at Shanghai Library, Dalian Library, etc., We published a collected papers Flower of Night: A Collected Papers of Chinese Modernism Study Group (Chugoku Bunko, 2021). The titles of these papers written by this research members are as follows. Midori Nakamura, "Nationalism and Memories of Father at Qingdao: Focusing on Hong Shen's Movie Screenplay Jiehou Taohua"; Toru Nakano, "Destroy "Xuefei" Student Movements at National Qingdao University and Wen Yiduo"; Daiki Saito, "What is My Next-door Doing? Last Night by Hu Yepin and the Theory of Masturbation in the Republic of China"; Akiko Sugimura, "Tali de Nvren by Wu Ming: A Story of Loss of Masculineness"; Shun Takahashi, "Daddy, How Research of Chinese Modern Literature Will Useful to Us?"; Tomohiro Nakano, "A Nationalism Novel of Wang Pingling during the Chongqing Period: Focusing on the Death of an Actress".

研究分野：中国現代文学

キーワード：中華民国期 国立青島大学 国立山東大学 高等教育 知識人 中国現代文学

1. 研究開始当初の背景

今日中国有数の避暑地かつ海洋都市として知られる青島は、ドイツ租借地として莫大な資金が投入され近代都市の基盤となるインフラが整えられた。第一次世界大戦をきっかけに日本軍が山東半島を占拠すると、青島は日本の統治下に置かれるが、五四運動をはじめとする中国国内の民族意識の高まりにより、1922年に中華民国の北京政府に返還されることになる。南京国民政府樹立後、中国人の手により新たな都市の整備がおこなわれた。このように青島は租借地としての重層的な歴史と文化を擁する土地であるが、同様の背景を有する上海などと比べると、中国研究において注目される機会は限られてきた。この空白を埋めるため、本研究の前身である「近代都市・青島における知識人の交流と文化空間の創成」(科研費基盤研究(C)、課題番号 K24520387、研究代表者：齊藤大紀、2012-2014年度)、「文化都市・青島における知識人ネットワークと都市表象の研究」(科研費基盤研究(C)、課題番号 15K02431、研究代表者：齊藤大紀、2015-2017年度)では、中国現代文学と青島とのかかわりについて調査し、1930年に開学した国立青島大学および青島市立中学の教壇に立った楊振声、沈從文、王統照など北京文壇派の教育・文化活動について考察してきた。さらに国立青島大学とその後身である国立山東大学に集った欧米留学派の文学者たちの教育・文化活動を捉えるため、本研究「中華民国期における高等教育と中国知識人の文化運動 青島、済南、周辺都市を中心に」を申請するに至った。

2. 研究の目的

本研究では、都市青島および山東省省都、済南を含む山東半島における1930年代の高等教育および文化空間の形成について分析することを目的とした。具体的には、これまでの共同研究の成果を踏まえて、南京国民政府の改革のもと1930年に開学した国立青島大学、その後身で1932年に学生運動の余波により改組された国立山東大学、さらに1930年代に教育カリキュラムの中国化の改革を行った済南のミッションスクール、齊魯大学で展開された中国人文学者の教育・文芸活動を調査した。国立青島大学とその後身の国立山東大学、齊魯大学には、楊振声、聞一多、洪深、老舍など欧米留学経験者を中心とした文学者たちが北京、上海から集い教壇に立ち、同時にまた北京や上海の文壇とのネットワークを維持しながら新たな文化空間を青島および済南に生み出していた。また近年、青島では都市開発と同時に旧市街の保存が進み、付随して《老舍青島文集》編委会編『老舍青島文集』全5巻が刊行されるなど、青島に関する文化研究が着手されつつある。青島の中国海洋大学日本研究センターや山東大学国際センターなど現地の研究動向を踏まえながら史料調査を行い、ドイツと日本の統治下にあった青島および山東半島を1930年代の「中国人を主体とした教育・文学の活動」から捉え直すことにより、中華民国の高等教育史および中国現代文学研究の双方において新たな視点を提供する。

3. 研究の方法

毎年、共同研究メンバーで研究例会を開催し、その時点での研究課題と収集した史料、論文の構成について発表を行い、かつゲストを招聘し、本研究テーマにかかわる報告を行ってもら

い知見を深めた。また近年中国で刊行された李宗剛・謝慧聡選編『楊振声研究資料選編』、《老舍青島文集》編委会編『老舍青島文集』、陳忠他編著『徐志摩与済南』、洪鈴『中国話劇電影先驅洪深：歴世編年記』など青島関係の書籍を購入したほか、前段階の共同研究で青島の青島市図書館、済南の山東大学校史史料館などで史料調査を行ってきたため、本研究では、初年度と次年度に共同研究メンバーで上海・杭州・海寧・富陽、大連を訪れ、史料調査を行った。中国有数の充実した中華民国期の雑誌・新聞データベースを有する上海図書館では、各研究メンバーがテーマとする国立青島大学および国立山東大学、楊振声、沈從文、王統照、聞一多、洪深、老舍などに関する史料収集を幅広く行った。また山東省で事故死した徐志摩の海寧故居、青島に滞りし青島を描いた郁達夫の杭州・富陽故居を訪れ、彼らの足跡について調査を行った。大連では、旧市街の中山広場・南山麓周辺の旧満鉄本社＝満鉄旧址陳列館、旧満鉄図書館＝大連市図書館魯迅路分館、また「満洲国」の街づくりに多くの山東出身の労働者が雇用されていたことを示す山東出身の苦力の旧集住地区を訪れた。海路で結ばれた遼東半島の大連と山東半島の青島とのつながり、および同様に租借地として重層的な歴史を有する大連と青島の歴史的記憶の保存の仕方について考察を行った。

4．研究成果

最終年度である2020年度は、共同研究メンバーの間でメールを用いて頻繁に連絡を取り合い、査読・校正作業を重ねながら、初年度の上海図書館および徐志摩の海寧故居、郁達夫の杭州・富陽故居での史料・訪問調査、次年度の大連市図書館および満鉄旧址陳列館、山東出身の苦力の旧集住地区での史料・訪問調査などの成果を踏まえて、研究代表者および研究分担者が共著メンバーとなった中国現代文学学術論文集『夜の華 中国モダニズム研究会論集』（中国文庫、2021年3月）を刊行した。上記論文集に収録した本研究メンバーの研究論文のタイトルは以下の通りである。中村みどり「青島興亡をめぐる民族意識と父の記憶 洪深の映画脚本「劫後桃花」を中心に」、中野徹「「学匪」を駆逐せよ 国立青島大学の学生運動と聞一多」、齊藤大紀「隣はナニをする人ぞ 胡也頻「昨夜 一段供状」と民国期のオナニー論」、杉村安幾子「無名氏『塔裡的女人』論—逆照射される男性性失墜の物語」、高橋俊「パパ、中国現代文学研究は何の役に立つの?」、中野知洋「重慶時期王平陵の民族主義小説 「女優之死」を中心に」。上記論文集は国内の研究者だけでなく、中国在住の中国人研究者にも献本を送り、国内外における幅広い研究成果の公開に努めた。また中華民国期の高等教育を支えた国立青島大学、後身の国立山東大学およびその教壇に立った中国知識人の教員・文学者としての活動について様々な角度から考察を行い、従来の中華民国の高等教育史と中国現代文学史に新しい視点を提供した。本研究で残された課題については、同じメンバーで2021年度から3年間の新たな科研の共同研究で取り組みたい。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計21件（うち査読付論文 10件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 9件）

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 1
2. 論文標題 青島興亡をめぐる民族意識と父の記憶 洪深の映画脚本「劫後桃花」を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	6. 最初と最後の頁 148-173
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 1
2. 論文標題 無名氏『塔裡的女人』論 逆照射される男性性失墜の物語	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	6. 最初と最後の頁 232-254
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 1
2. 論文標題 錢鍾書と呉#23443;	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『文学の力、語りの挑戦 中国近現代文学論集』	6. 最初と最後の頁 87-110
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 40
2. 論文標題 「美貌」というスティグマ 徐#35343;『風蕭蕭』における美女表象	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『お茶の水女子大学中国文学会報』	6. 最初と最後の頁 13-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 齊藤大紀	4. 巻 1
2. 論文標題 隣はナニをする人ぞ 胡也頻「昨夜 一段供状」と民国期のオナニー論	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	6. 最初と最後の頁 52-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 1
2. 論文標題 ババ、中国現代文学研究は何の役に立つの？	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	6. 最初と最後の頁 404-428
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 1
2. 論文標題 「学匪」を駆逐せよ 国立青島大学の学生運動と聞一多	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	6. 最初と最後の頁 110-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中野知洋	4. 巻 1
2. 論文標題 重慶時期王平陵の民族主義小説 「女優之死」を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	6. 最初と最後の頁 256-284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 865
2. 論文標題 「書評 範麗雅著『中国芸術というユートピア ロンドン国際展からアメリカの林語堂へ』（名古屋大学出版会、2018年）」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『中国研究月報』	6. 最初と最後の頁 27-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 26
2. 論文標題 「書評 高田幸男編著『戦前期アジア留学生と明治大学』（東方書店、2019年）第4章「胡風の日本留学体験」」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 明治大学史資料センター『大学史紀要』	6. 最初と最後の頁 27-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 55
2. 論文標題 「戦時における日中研究者のつながり 松枝茂夫宛陶晶孫閣連書簡二通について」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『文化論集』	6. 最初と最後の頁 245-258
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 中里見敬・中村みどり	4. 巻 38
2. 論文標題 「留学史研究の現状について」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『霞山日本同窓会NEWS LETTER』	6. 最初と最後の頁 6-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 24
2. 論文標題 「徐訏「歌楽山的笑容」試論 “鬼 ゴースト・ 故事 ストーリー ” に仮託されたもの 」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『言語文化論叢』（金沢大学国際基幹教育院外国語教育系紀要）	6. 最初と最後の頁 103 - 123
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24517/00057385	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 中野徹	4. 巻 100
2. 論文標題 「国と省のはざままで 国立青島大学と楊振声」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『野草百号記念号 中華文藝の饗宴』	6. 最初と最後の頁 56-84
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤大紀編訂、羅勛章・呂晶訳	4. 巻 第1輯
2. 論文標題 「日本有関沈従文的紹介・研究論文目録」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 吉首大学沈従文研究所編『沈従文研究』	6. 最初と最後の頁 348-405
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 19
2. 論文標題 「労働と成長のユートピア 深センにおける「物語」をめぐる 」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『国際社会文化研究』	6. 最初と最後の頁 115-128
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 49
2. 論文標題 「文学研究にとって 場 とはなにか - 中国の地域文学研究について - 」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『高知大國文』	6. 最初と最後の頁 51-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11501/4413542	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋俊	4. 巻 100
2. 論文標題 「深セン文学に読む物語 - 文学を都市から救い出す? - 」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『野草百号記念号 中華文藝の饗宴』	6. 最初と最後の頁 85-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 23
2. 論文標題 「愛よりも情よりも 楊振声「阿蘭的母親」から「済南城上」へ」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『言語文化論叢』	6. 最初と最後の頁 129-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24517/00053896	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中野知洋	4. 巻 13
2. 論文標題 「王平陵『小飛行師』をめぐる一考察 母と子の物語、父と子の物語 」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『日本アジア言語文化研究』	6. 最初と最後の頁 87-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11501/4428292	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村みどり	4. 巻 102
2. 論文標題 「日本占領下上海における陶晶孫の言説 大東亜文学者大会と「老作家」・「狗」」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『野草』	6. 最初と最後の頁 60 - 84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件 (うち招待講演 5件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「書評 高田幸男編著『戦前期アジア留学生と明治大学』(東方書店、2019年)」
3. 学会等名 シンポジウム「アジア留学生史研究の成果と課題(招待講演)」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「恋愛・都市・科学・戦争 陶晶孫の文学作品における少女表象」
3. 学会等名 中国空想メディア研究会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中野知洋
2. 発表標題 「日中戦争時期重慶における民族主義小説とモダニズム」
3. 学会等名 日本・アジア言語文化学会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中野知洋
2. 発表標題 「王平陵『女優之死』とモダニズム」
3. 学会等名 基盤研究C〔18K00358/17K02642合同〕2018年度第1回研究例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「孫安石・菊池敏夫・中村みどり編『上海モダン 良友』画報の世界」
3. 学会等名 中国文芸研究会夏合宿
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中里見敬・中村みどり共同発表
2. 発表標題 「留学史研究の現状について」
3. 学会等名 交換留学事業開始30周年シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「都市上海与創造社の作家」
3. 学会等名 上海城市研究新動向” 學術検討会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村みどり
2. 発表標題 「青島と中国人の文化活動 演劇・映画人洪深と青島」
3. 学会等名 神奈川大学非文字資料研究センター「戦前の青島と日本をめぐる円卓会議」（招待講演）
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計7件

1. 著者名 中国モダニズム研究会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中国文庫	5. 総ページ数 450
3. 書名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	

1. 著者名 宮尾正樹教授退休記念論集刊行会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 439
3. 書名 文学の力、語りの挑戦 中国近現代文学論集	

1. 著者名 中村みどり	4. 発行年 2020年
2. 出版社 青弓社	5. 総ページ数 288 (93 - 127頁)
3. 書名 熊谷謙介編著『男性性を可視化する 男らしさの表象分析』、中村みどり「第3章 洪深のアメリカ留学体験 自伝における人種差別・恋愛、そして演じること」	

1. 著者名 梁鴻著、鈴木将久・河村昌子・杉村安幾子共訳	4. 発行年 2018年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 312
3. 書名 『中国はここにある 貧しき人々のむれ』	

1. 著者名 中国モダニズム研究会 杉村安幾子79- 91頁、中野知洋93-106頁、高橋俊121-133頁、中村みどり167-180頁	4. 発行年 2018年
2. 出版社 関西学院大学出版会	5. 総ページ数 230
3. 書名 『中華生活文化誌』	

1. 著者名 大東和重、神谷まり子、城山拓也編 高橋俊訳・解説、446-460頁、448-524頁、中野知洋訳・翻訳、64-74頁、496-511頁、中村みどり訳・翻訳、2-15頁、613-622頁、543-563頁	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 700
3. 書名 『中国現代文学傑作セレクション』	

1. 著者名 孫安石、大里浩秋 中村みどり「中国人留学生在語る「日本」 郁達夫「帰航」とイギリス排日小説『キモノ』(Kimono)」59-186頁	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 345
3. 書名 『中国人留学生と「国家」・「愛国」・「近代」』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	高橋 俊 (Takahashi Shun) (10380297)	高知大学・教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門・教授 (16401)	
研究分担者	中野 徹 (Nakano Toru) (20610512)	近畿大学・文芸学部・准教授 (34419)	
研究分担者	杉村 安幾子 (Sugimura Akiko) (50334793)	日本女子大学・文学部・教授 (32670)	
研究分担者	齊藤 大紀 (Saito Daiki) (70361938)	富山大学・学術研究部人文科学系・教授 (13201)	
研究分担者	中野 知洋 (Nakano Tomohiro) (70372638)	大阪教育大学・教育学部・准教授 (14403)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関